



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO KITA

c/o TOKYO YMCA 2-2-20 TOYO KOTO-KU TOKYO 135-0016, JAPAN Tel:03-3615-5562
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS. CHARTERED 1980



2021年 2月 No479

Jacob Kristensen (デンマーク) 国際会長主題:

「VALUES,EXTENSION,andLEADERSHIP」 [価値観、エクステンション、リーダーシップ]
 スローガン: 「TRUST IN THE RIVER OF LIFE」 [命の川を信じよう]

David Lua アジア太平洋地域会長主題: 「Make A Difference」 [変化をもたらそう]
 スローガン: [奮い立たせよう]

板村哲也(東京武蔵野多摩)東日本区理事主題: 「“Let's enjoy Changes”」 [変化を楽しもう]
 副題: 「Let's help and share each other」 [助け合い、分かち合い]

柿沼敬喜 (東京グリーン) 関東東部部長主題: 「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」

村杉一榮 東京北クラブ会長主題: 「元気をだして 楽しく！」

会長;村杉一榮 副会長;磯部成文 書記;金 秀男 会計;磯部幸子 担当主事;小松康広

今月の聖句

コリントの信徒への手紙 II 4:8,9

『わたしたちは、四方から苦しめられても行き詰まらず、途方に暮れても失望せず、
 虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない。』 金 秀男 選

第594回 2月例会プログラム

*コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言も期間延長となり
 例会は、中止いたしました。

ハッピーバースデー

19日 羽田真治 24日 磯部幸子

ウェディングアニバーサリー

なし

今後の予定

1. 例会

①第594回 2020年 3月16日(火) 13:00~15:00
 内容 未定

2. 報告・協議事項

①1月例会はコロナウイルス感染拡大の中、東京都に緊急事態宣言も発令され、中止することになりました。更に、緊急事態宣言は期間が延長になったことから2月例会も中止と判断、「清泉YMCA活動報告」は書面にてブリテンに掲載することとした。東京北クラブ40周年記念会については4月または5月の開催を検討していく。

②40周年記念例会を5月に開催する場合、3月・4月の例会の時間を使って、40周年記念会について協議することが良いのではないだろうか。

随筆

コロナ禍に思う。

有里 公德

コロナと聞いた時に「太陽の王冠」を連想した。私にとってコロナはいいイメージであり、今後もそうありたい。さて、感染者数の報道に一喜一憂する日々が続いている。正直ピンとこない。交通事故で死傷する確率は年0.5%程度と記憶している。統計で異なるが約60万人である。1日当たり1600人強である。感染者は隔離され実際に会うことははるかに少ない。密を避け会話せずこまめに手洗いすれば確率的に会うことはほとんどない。逆に言えば飛沫に曝されれば何しても意味がない。普通に暮らしていた。しかし0にならない限り感染は広がる。ウィルスも生存競争に勝つように変化する。しかし宿主を殺したら自滅する。怖いのは種をまたがる感染である。ノアの箱舟を想うと自然は全ての生命が危機に陥るのを嫌うと思いたい。変化は緩やかにと考えるのでは。歴史を見れば種の絶滅はある。改めて、文明;技術の進歩は何か考えたい。

最近思う。基本的な免疫力は筋力である。そして知力も筋力の維持に支えられている。今を大切に過ごしたい。

1月在籍者	1月出席者	1月出席率	B F等ポイント	ニコニコボックス
会 員 7名	会 員 0名	%	月分	
	広義会員 0名	メイクアップ	切 手 0g	月分
広義会員 5名	メネット 0名	名	現 金 0円	円
合 計 12名	ビジター 0名	月修正出席率	本年度累計	本年度累計
	ゲスト 0名	%	切 手 0g	37,000円
	合 計0名		現 金 0円	

*** 興望館便り **** 五十嵐 美奈さん

「大学生と小学生のオンライン交流」

明治学院大学社会福祉学科2年生の授業に、興望館キャンパスでフィールドワークをするゼミがあります。今年は大学の方針で対面の活動が制限されたため、オンラインボランティアに挑戦しました。戸塚キャンパスに大学生が、興望館ホールに学童クラブ2・3年生が集まり、ZOOMを用いた交流です。学生が選んだテーマは「SDG's」。小学生に少しでも世界の課題を知らせたいと、クイズ形式で温暖化や森林火災などの環境問題を取り上げました。子どもたちは思いのほか楽しんでくれて、新しい活動の可能性を感じています。

YMC A ニュース

1. 1月16日、第15回子育て講演会が開催され、柴田愛子氏(りんごの木子どもクラブ代表)に「子どもの心をのぞいてみませんか」と題して講演をいただいた。新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催し、子育て中の保護者を中心に106名が参加し、好評であった。会員と職員有志による子育て講演会実行委員会が準備と運営を担い、27の法人や団体より協賛をいただいた。
2. 全国YMCAで取り組んでいるいじめ反対キャンペーン「ピンクシャツデー」が今年は2月24日に設定されている。東京YMCAでは1月30日には講演会「大人も学ぼう！いじめの構造と解決策」をオンラインで開催し、金子春菜弁護士と足立悠弁護士(ストップいじめ！ナビ弁護士チーム)にお話を伺った。内容は機関誌2月号に掲載された。各部では教職員や子どもたちがピンクのものを身につけてアピールや寄せ書きをするほか、いじめや差別について学ぶ様々な取り組みをしている。

ピンクシャツデーって！

「ピンクシャツデー」は、2007年、カナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身につけて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。

このエピソードはSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに反対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の最終水曜日でした。それ以降、2月の最終水曜日に私たちもいじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。社会全体が「自分事として」向き合うこと、そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならない」ということが、いじめられている人を救うことになる・と私たちは考えます。新型コロナウイルス感染症への不安や恐怖は、私たちの心や社会に差別や偏見をもたらしています。いまこそ、いじめの問題について一緒に考えアクションを起こしましょう。

3. 12月12日、東陽町コミュニティーセンターは、江東区内の9か所のこども食堂と協力してフードパントリーを実施し、25世帯70人の方にお米やお餅などの食料を無料配布した。実施にあたっては、企業や団体、個人の方など多数から食品のご寄付をいただいた。
4. 「ソシアス2020」(会員協議会)が、今回はオンラインにて開催され、60名(会員23 職員37)の参加があった。全体での礼拝から始まり、その後はオンライン上で分団に分かれ、①YMCAの良さを社会に広めるためには ②会員だけでなく、多くの地域の人に関わってもらうためには ③コロナ禍の今だからこそできる活動、やらなければならない活動とは というテーマに基づいてフリーディスカッションを行った。これからのYMCAについて、会員(職員含む)が一体となって作っていくことができるよう、有意義な意見交換の場となった。

今後の主な行事日程

- ・「第21回日本YMCA大会」 2月23日
(日本YMCA同盟主催)(オンライン)
基調講演：関田寛雄氏
(日本基督教団神奈川教区巡回牧師)
- ・「東日本大震災10周年礼拝」 3月6日
(オンライン)
説教：飯岡洋介氏(成増キリスト教会牧師)
- ・東日本大震災10周年「福島パネル展」
3月1日～6日 会場：東陽町センター
- ・「第8回日中韓平和フォーラム」 3月6日
(日本YMCA同盟主管)(オンライン)
テーマ：「はなれていても つながっている」
- ・「第30回チャリティーゴルフ大会」 4月8日
会場：PGM総成ゴルフクラブ
(小松康広担当主事)